

## 4 学校における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取り組み

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
79	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	新規		「子どもと本のつどい」上橋さんとちょこっと話その参加人数 「服部かみしばい大会」の実施回数 参加人数	18人 2回 124人	市立図書館と子ども文庫、学校図書館が連携し、中高生が直接作家と話す機会を設けた。当日座談会「上橋さんとちょこっと話そ」に参加した小中学生は作家に作品に関する質問をするなど、積極的に発言し、交流の場としていた。 服部図書館では、小学生から大人まで一緒になって紙芝居を演じる楽しさと見る楽しさを体験し共有する催しを高校の協力を得て実施した。こちらの事業は準備にかかる時間等との関係から平成19年度は予定していない。	市立図書館
							「直接先生と話す機会ができてとてもよかった」「はじめてかみしばいをよんだのでどきどきしました。たくさんの子どまがきていたのでびっくりしました」	
	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	新規				本の帯作成や、本を友達に紹介する絵手紙(読書ゆうびん)を作成し、近隣図書館で展示を行った。	学校指導課
80	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取り組みを進める。	継続				「図書の時間」や「朝の読書」を設定し、教員と学校司書が協力して、読書の楽しさを知る学習をしたり、「総合的な学習の時間」など授業のなかで、学習内容や子どもたちの興味関心に沿って、関連した本の紹介やよみかかせをして学習を深めている。また、地域ボランティアや保護者等の協力により、読み聞かせを行っている学校もある。	小・中学校 学校指導課
81	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取り組みを行う。	継続				年度始めの図書の時間などにオリエンテーションを学校図書館で実施し、図書館の使い方のほか、レファレンスサービスなどの図書館サービス、読んでいる本についてのプライバシーの保護を、児童・生徒に伝えている。児童・生徒の登校する月曜日から金曜日まで毎日図書館を開館し、「図書の時間」、また休み時間や放課後に貸出をおこなっている。また、リクエスト制度を取り入れ、子どもが読みたい本を読めるように努力している。校内の本で足りない場合は、週1回の物流便によって公共図書館や他の小・中学校の協力を得ている。	小・中学校 学校指導課
82	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるよう機会をつくる。	継続				児童・生徒が、図書委員会としての活動として、本の紹介や読み聞かせなどを行ったり授業の中で互いの感想を交流したりしている。	小・中学校

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
83	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。(58、100、135にも掲載しています。)	継続		おはなし会の回数 参加人数	8ヶ所で10回開催、参加人数は1,022人 小学校は1校、84人	私立幼稚園2ヶ所、小学校1ヶ所、中学校1ヶ所(2回開催)、養護学校2ヶ所(3回開催)、通園施設2ヶ所にておはなし会を行った。図書館がコーディネータ役となり、事業終了後も団体貸出の案内をするなど、実施した園や学校の読書環境を充実させるためのきっかけとなっている。	市立図書館 豊中おはなしの会
84	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	新規		回数 参加人数	1回、40人	千成小学校PTA総会で子育てと絵本について市立図書館職員が講座を行った。	市立図書館
	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	新規				保護者への働きかけとして、例えば児童・生徒向けの図書館だよりなどで間接的に「子どもの読書の大切さ」や学校図書館の活動が伝わるように意識している。また、参観日などの機会をとらえ、保護者に学校図書館を見学してもらえよう配慮している学校もある。しかし、授業や日頃の図書館サービスを通じて、児童・生徒また教職員を主な対象に活動しているため、保護者への直接的な活動はまだ活発とはいえない。	学校図書館 学校指導課

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
85	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続				地域のボランティアが読み聞かせを行っている学校では、情報交換が行われている。	学校指導課
	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続		「子どもと本をつなぐ地域交流会」の参加人数	32人	平成18年度は豊中市中部(岡町・服部図書館周辺)で実施した。保健師と学校司書による活動報告の後、グループごとに活動の状況や課題を話し合った。活動の悩みや読み聞かせの選書の難しさなどのほか、人とのつながりや連携の大切さなどについての意見も出された。参加者からは時間が不足し意見交換はできなかったが、課題を共有し深めるところまでいかなかったという意見が多く、次回はこれらの意見を踏まえて開催したい。平成19年度は市内3ヶ所で開催を予定している。	市立図書館
「各分野の方と情報交換しあえた」「たくさんの団体(人)が読書に関わっていることがわかった」等								

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
86	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、全国学校図書館図書費などをふまへ、図書費の確保等、資料整備を進める。	継続			図書購入費 小学校 2,601万円 中学校 1,402万円	学校当たり単価を変更し、前年度(平成17年度)比小・中それぞれ約6.4%増加した。	教育施設課 企画総務課
87	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	継続				学校図書館の整備については2教室を1教室にする工事が伴い、1校あたり1,500万～1,900万円程度かかり、さらに耐震補強も必要なため、予算の確保は困難と思われるが、財政状況を考慮しながら整備していきたい。	教育施設課
88	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。	継続				導入に係わる必要経費等の資料収集にあたった。	学校指導課 市立図書館 教育センター
89	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。	継続				日常的な運用が行われている。新たな運用のあり方について引き続き研究中である。	学校指導課 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
90	学校・市立図書館連絡会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [157にも掲載しています。]	継続		会合回数	8回 (8館×1回)	市立図書館から学校指導課を通じて担当する地域の小学校・中学校に呼びかけ、学校司書や司書教諭と会合を持った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに、図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。	市立図書館 学校指導課

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
91	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		生徒の参加人数	12名	第十六中での読み聞かせボランティア体験学習を7回実施。プリントでの説明、本読みの実演、図書館での本選び、練習、留守家庭児童会での読み聞かせの実習において指導。課題としては中学校の担当の先生、市立図書館、おはなしポケット(読み聞かせボランティア)がもっと密に連携をとっていくようにすることがあげられる。	おはなしボランティアポケット
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		講座回数参加人数	4回のべ21人	市立図書館と地域教育振興課が共催し、「高校生のためのボランティア講座」をおはなしボランティアポケットの協力を得て実施した。講座2回と保育所での実践1回。受講者の中には講座終了後も地域の行事や図書館でのおはなし会に意欲的に参加してくれる人たちもいた。また、高校の家庭科の教科でも絵本講座を実施。	市立図書館
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充				中学生が読み聞かせボランティアの方々の指導を受けた後、近隣の小学校の児童に読み聞かせを行った。	学校指導課
92	「学校における読み聞かせボランティアのバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。	継続		バックアップ講座の回数参加人数	千里1回目16人・2回目16人、庄内7人	6月に千里図書館で2回連続講座、9月に庄内図書館で1回の講座を実施。平成19年度は中部地区での開催を予定している。実施する際には各学校でのボランティア活動の状況を学校指導課と連携しながら把握する必要がある。	市立図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
93	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。	継続				子ども読書活動推進計画を周知し、管理職研修他において、学校図書館の活用のあり方等についての研修を行った。	学校指導課
94	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔162をご参照ください。〕	拡充				教職員向けの読み聞かせ講座を18年度に1回実施した。推進計画の周知については実施したが、見学は未実施。平成20年をめぐりに企画内容を検討中。	市立図書館
	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔162をご参照ください。〕	拡充				各校で学校図書館教育に関わる校内研修を実施。 (全校での実施ではない)	学校指導課
95	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	継続				年3回研修会の開催を行った。内容として講演会や実践交流会を行った。	学校指導課
96	学校司書研修	学校教育における効果的な読書並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	継続				学校図書館教育担当者(司書教諭)の研修に加え、学校司書の連絡会を実施し、小中部会ごとに各校の取り組みの交流等を行った。また、公共図書館や教育委員会、学校現場から講師を招き研修会も行った。	学校指導課